

御所見通信

2018年7月20日

夏休み号

藤沢市立御所見小学校

校長 三橋 雅幸

夏休みだからやってみよう

今日で1学期も終了し、明日から6週間の夏休みとなります。今年は暑い日が続いているので、例年以上に夏休みが待ち遠しかったことでしょう。

学校を離れて家庭で比較的自由に使える時間がたっぷりある夏休みだからこそ、普段なかなかできないことに挑戦してもらいたいものです。子どもたち一人ひとりが自分の興味を持ったことに対して、じっくりと取り組む時間をとれたらよいと思います。

取り組む内容は、教科書の内容や教科の学習と離れてもかまいません。何か一つのことを毎日続けていくのもよいでしょう。自分で決めたことを、毎日やり続け、やり遂げることが大きな自信につながります。「継続は力なり」という格言があります。夏休みが終わっても更に続けていくことができたなら、きっと大きな力がつくことでしょう。

また、普段生活していて「あれ?」「どうして?」と不思議に思ったこと(課題)について、自由研究をするのもよいでしょう。自分なりに考えて、調べたり、実験をしたりします。それで課題が解決したら素晴らしいです。逆に、思うような結果を得ることができないこともあるでしょう。調べ方や実験方法が悪いのか、内容が難しすぎるのか。でも、順序立てて考え、研究に取り組んだ経験は、次の取り組みに生きてきます。「失敗は成功のもと」です。とにかくやってみましょう。

一つの課題が解決しても、そこから新しい不思議を見つけていけると研究は更に深まります。たくさんの不思議を見つけていけたら素敵です。

研究したことを、順序立ててまとめていくと立派な夏休みの自由研究作品になります。せっかく取り組んだのなら、作品にまとめてみたらどうでしょう。藤沢市総合かがく展等に出品する場合には、規格を確認してください。

夏休みに取り組んだ成果は、すぐには現れないかもしれませんが、でも、長い休みだからこそできることに取り組んで、充実した夏休みにしてほしいと思います。



たくさんの実をつけている校庭のいちじょう